



01 歯科医師数問題 ～歯科医師の置かれている現状～

今や人気の職業とはいえない歯科医師

●小学生がなりたい職業トップ100

【男子】

- 1位 サッカー選手・監督など
- 2位 野球選手・監督など
- 3位 医師
- 4位 ユーチューバー
- 5位 ゲーム制作関連
- 6位 会社員・事務員
- 7位 プロゲーマー
- 8位 建築士
- 9位 飼育員
- 10位 料理人・シェフなど
- ⋮
- 18位 薬剤師
- 42位 看護師

歯科医師 42位 (同率)

【女子】

- 1位 医師
- 2位 看護師
- 3位 保育士
- 4位 イラストレーター
- 5位 教師
- 6位 薬剤師
- 7位 美容師
- 8位 パティシエール
- 9位 獣医
- 10位 会社員・事務員
- ⋮
- 21位 ユーチューバー
- 67位 歯科衛生士
- 74位 プロゲーマー

歯科医師 74位 (同率)

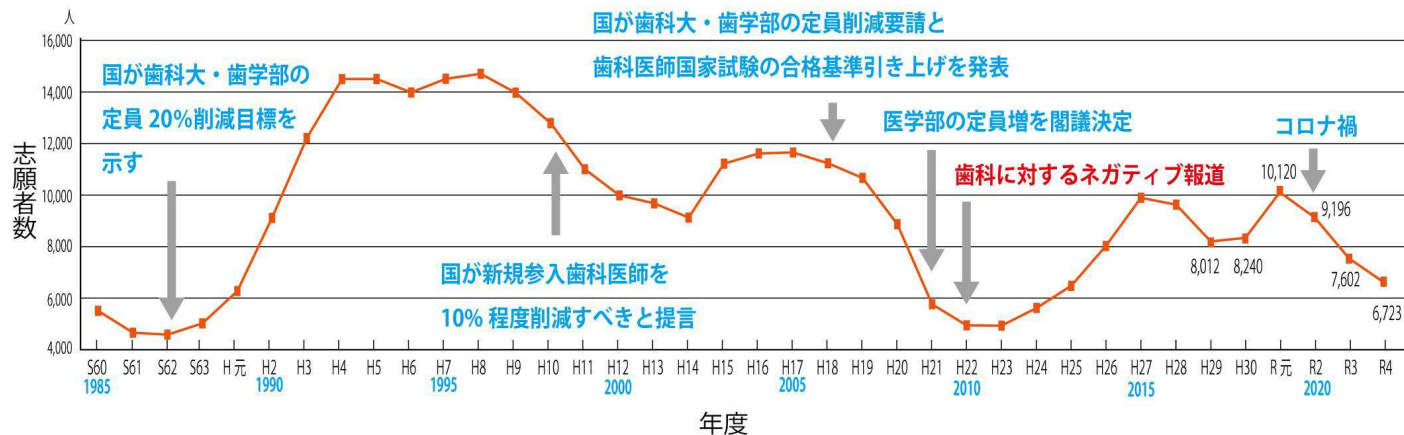
●中高生がなりたい職業トップ100

- 1位 YouTuber
- 2位 警察官
- 3位 司書
- 4位 臨床心理士
- 5位 プロスポーツ選手
- 6位 外交官
- 7位 公務員[一般行政職]
- 8位 イラストレーター
- 9位 声優
- 10位 PA[音響]
- ⋮
- 16位 看護師
- 17位 薬剤師
- 21位 医師

歯科医師 ランク外 (101位以下)

社会情勢に左右される歯科医師の人気

■私立歯科大学・歯学部の入試志願者数推移



歯科大学・歯学部卒業後の歯科医師の人気は高く 求人倍率8.72！就職率100%！

■私立歯科大学・歯学部卒業生への求人状況（2022年3月卒業）

【件数ベース（14歯学部）】

卒業生数	求人件数	求人倍率
1,181人	10,301件	8.72 倍

【人数ベース（6歯学部）】

卒業生数	求人人数	求人倍率
574人	7,321人	12.75倍

○参考 大卒求人倍率（2022年3月卒業予定）

民間企業 就職希望者	求人総数	求人倍率
45.0万人	67.6万人	1.50倍

株式会社リクルート リクルートワークス研究所調べ

歯科医師人気に影響を与える「誤解」

【2010年頃から一部報道やSNSなどで下記のような歯科に対するネガティブな情報が拡散されました。その真偽は……!?!】

- 「歯科医院はコンビニより多い」ってホント？
- 「過当競争で歯科医院は利益が上がらなくなった」の？
- そもそも「歯科医師数は多すぎる」の？
- 「歯科医師を目指す若者が減っている」の？

実情：歯科医師はこの20年で約1万7千人増えて約10万7千人に

■ 歯科医師数推移

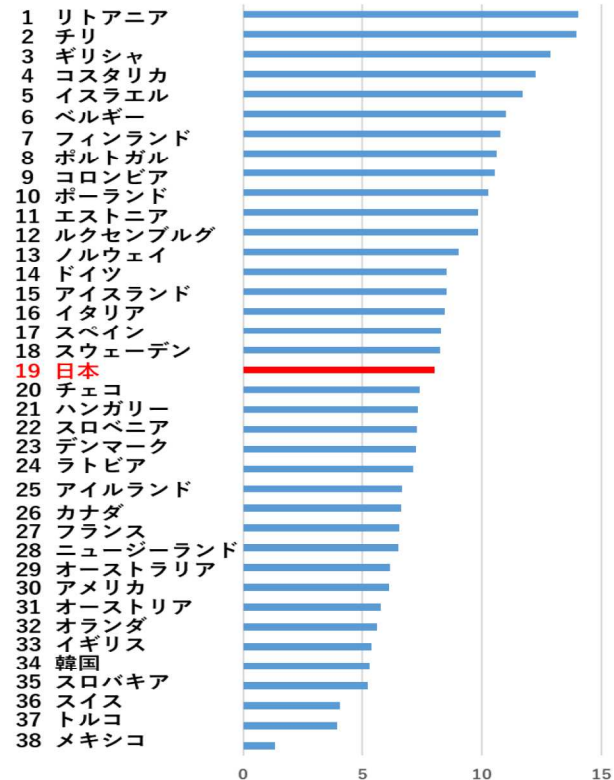


日本の歯科医師数は 世界的に見ると過剰ではない

人口当たりの歯科医師数の比較では、
日本の歯科医師数は
OECD加盟38国の中で19位
世界では中位であり、
決して歯科医師が過剰だとはいえず、
今後はさらに減少していこうとしています。

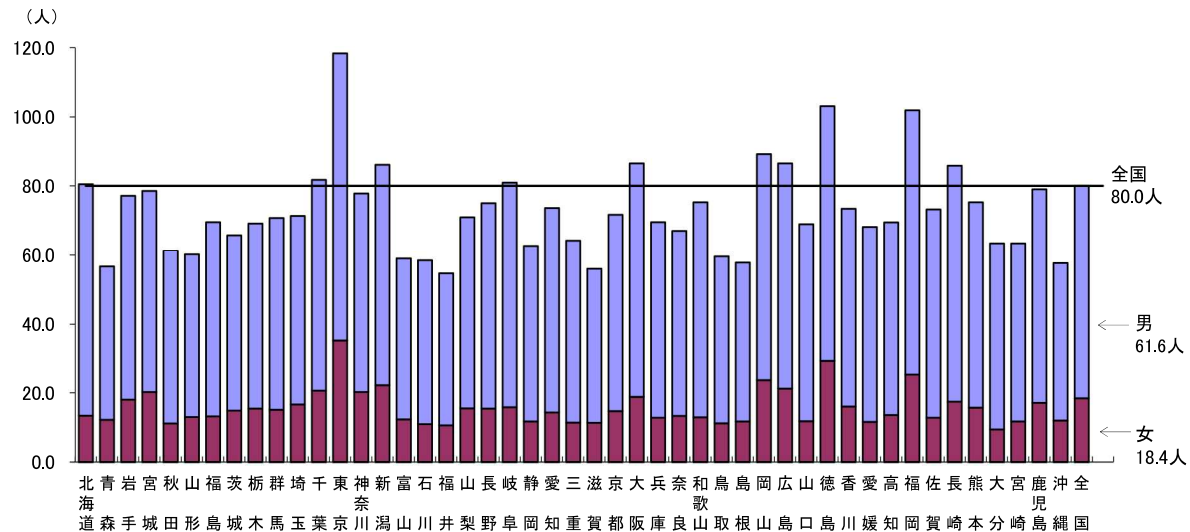
WHOのホームページでは [Global Health Observatory \(GHO\) data](https://www.who.int/data/stories/global-health-observatory) という世界各国の医療・病院・クリニック・健康に関する統計データを公表しています。

■ OECD加盟国-人口1万人当たりの歯科医師数（2022）



歯科医師は偏在している

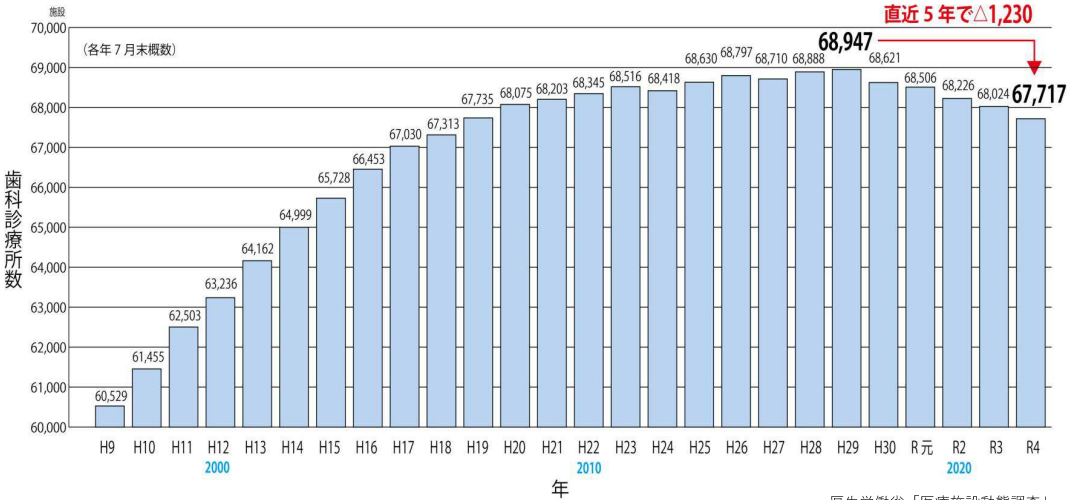
■ 都道府県別人口10万人対歯科医師数（2020年）



厚生労働省
「無歯科医地区等調査」

歯科診療所は約6万8千施設。近年はやや減少傾向

■ 歯科診療所数の年次推移



厚生労働省「医療施設動態調査」

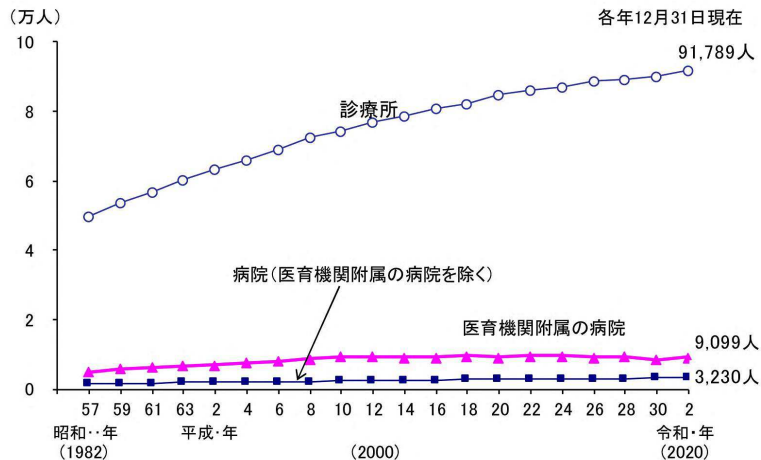
■ 歯科診療所数の
1年間の動態状況
(R元→R2)

令和元年 10月1日現在		68,500
増	開設	1,393
	再開	172
減	廃止	1,714
	休止	477
増減		△626
令和2年 10月1日現在		67,874

厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査・病院報告」

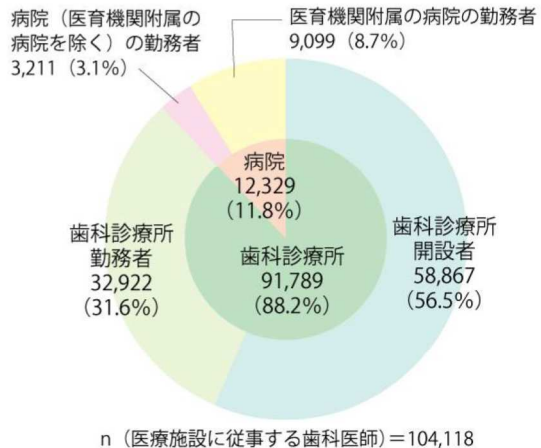
歯科医師の9割は歯科診療所で地域口腔保健に貢献 (6割は開業医、3割は勤務医)

■施設の種別にみた医療施設に従事する歯科医師数の年次推移



厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

■医療施設に従事する歯科医師の勤務形態



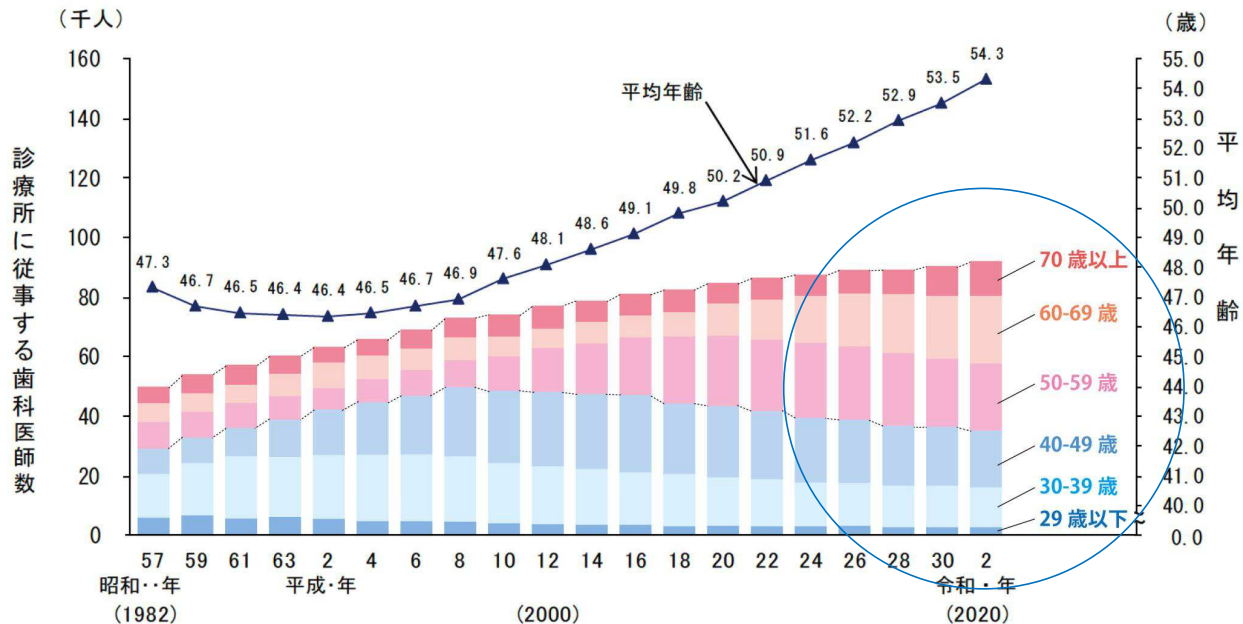
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」2020年

●医療施設以外の従事者

- ・介護老人保健施設の従事者 28人
- ・介護医療院の従事者 6人
- ・医育機関の臨床系以外の勤務者又は大学院生 1,048人
- ・医育機関以外の教育機関又は研究機関の勤務者 213人
- ・行政機関、産業医、保健衛生業務の従事者 385人
- ・その他 1,645人

進む歯科医師の高齢化。平均54.3歳。歯科医師の半数以上が50歳以上

■ 年齢階級別にみた診療所に従事する歯科医師数及び平均年齢の年次推移

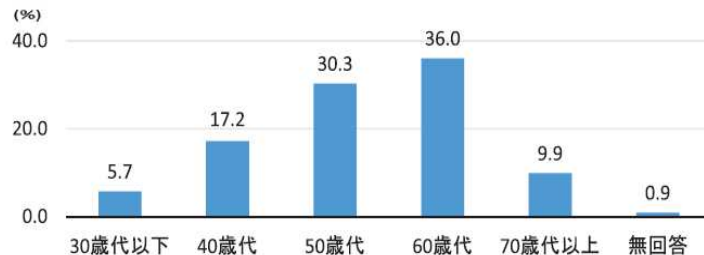


開業歯科医 （歯科診療所開設者）の 46.8%が60歳以上。 9割は継承が決まらない

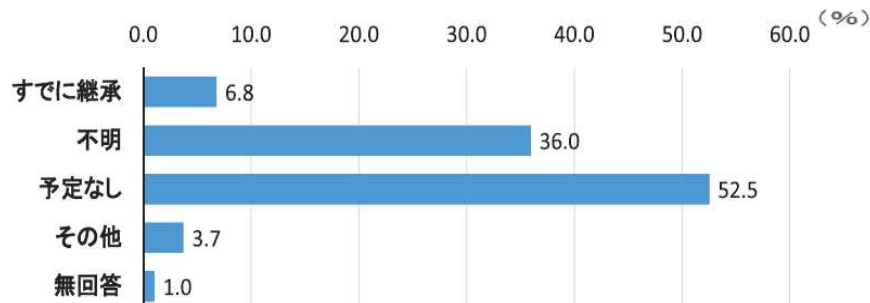
日本歯科医師会会員である歯科医療機関の管理者
いわゆる開業歯科医約1. 万名にアンケート調査

地域包括ケアシステムにおける「かかりつけ歯科医師が果たす役割と今後の働き方等」（2020. 年3. 月）に関する調査 日本歯科総合研究機構

■ 歯科診療所管理者の年代及び将来の継承の予定



管理者の年代



将来の継承の予定

就業歯科医師の高齢化が進み、2025年辺りからは歯科医師数が減少に転ずる模様

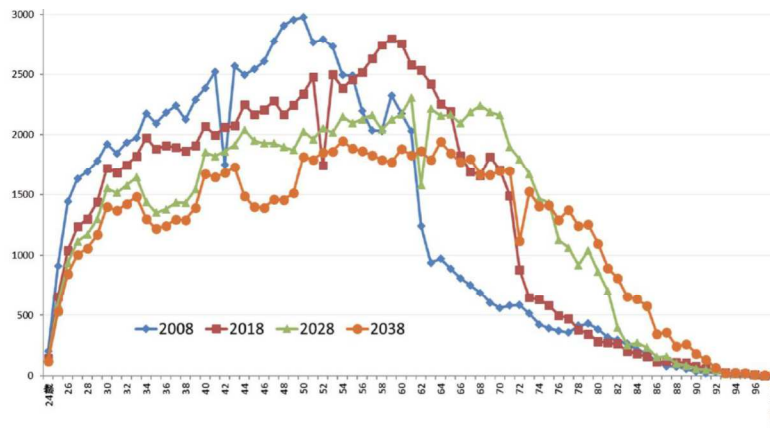
■人口10 万対歯科医師数の推計

人口10 万対歯科医師数の将来推計

	2008 年	2018 年	2028 年	2038 年
(全数)	75.7	80.5	82.3	80.2
70 歳でリタイアと仮定	70.8	74.2	69.2	63.6
75 歳でリタイアと仮定	72.8	77.5	76.0	70.0

2008 年および2018 年年齢別歯科医師数より作成
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」より日本歯科総合研究機構作成

■2038 年までの歯科医師数の将来予測



推計方法：2008 年および2018 年の年齢別歯科医師数のデータをもとに、過去の歯科医師国家試験合格率も加味し、2028 年および2038 年の歯科医師数を推計した。

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」より日本歯科総合研究機構作成